

特集

夜間多尿の病態： 循環器内科の立場から

大石 充

鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学

Key Words ナトリウム利尿, 水利尿, 夜間尿産生, 圧-利尿曲線

夜間頻尿・多尿は蓄尿障害だけではなく、夜間尿産生が亢進することによって発症することもある。尿産生にはナトリウム (Na) 利尿と水利尿があり、代表的な疾患として各々高血圧と心不全が考えられる。食塩感受性高血圧で塩分摂取過多となると、昼間だけではNaを排泄することができず、夜間に排泄をせざるを得なくなる。そのため、夜間高血圧によるNa排泄のため尿産生に導かれ夜間多尿を呈する。一方で、心不全では夜間臥位により静脈還流が上昇するため、水利尿をして心臓への負担軽減を促すような適応現象が起こり、夜間尿産生亢進による夜間多尿を呈する。前者はサイアザイド系利尿薬でNa排泄を促し、後者はループ利尿薬で水分排泄を促すことが、夜間頻尿・多尿の治療となりうると考えられる。

はじめに

超高齢社会の現代では夜間頻尿はQOLを大きく損ねる重要な問題である。多くの場合では尿がうまく溜められない・出せないため夜間頻尿になると考えられるが、理論的には夜間尿が多く作られすぎると夜間頻尿となることもあり得る。さらに、尿が作られる機序としてナトリウム (Na) 利尿と水利尿の2つの目的が考えられる。本稿で

は、循環器内科医の立場から、夜間多尿となる代表的な病態として高血圧と心不全について病理病態およびその対処法を解説したい。

夜間頻尿と高血圧

夜間頻尿と高血圧の関連については数多くの報告があり、夜間頻尿に関連する因子についてのレビュー論文52編を分析したところ、高血圧は男性、

Mitsuru Ohishi (教授)